

りっぷる

# Ripple

エスコープ大阪機関紙

第235号

22. **8** .29

## Contents

P2

・インタビュー続き  
・活動報告 エッコロ専門委員会  
「エコロカフェ」

P3

・組合員紹介 ・職員紹介

P4

・「おおぜいの私」がつくるエスコープ大阪  
・理事会報告 ・おたよりネット  
・編集後記

## 子ども食堂が要らない 地域をめざして

「子ども食堂」は10年前に東京の八百屋で立ち上げられたのをきっかけに、今では日本全国で6,000ヵ所以上、堺市内でも約75ヵ所で運営されています。子ども食堂は子どもの貧困対策としてだけでなく、地域住民のコミュニケーションの場としても注目を集めています。そこで、2021年に生活クラブ連合会の「新型コロナウイルス感染拡大下の緊急助成」で支援をおこなった、地域住民と共に子ども食堂を運営されている「はらやまひかり食堂」代表の近藤慎太郎さんにお話を伺いました。

(聞き手:理事長 吉田 正美)

### お節介からつながる 相手に寄り添った支援

吉田 子ども食堂にお弁当を取りに来る人数が毎回250~300名というの多いように思いますが、お弁当を作るボランティアの人数も多いですね。このように今では地域の人たちに必要とされている『はらやまひかり食堂』ですが、どのようなことがきっかけで子ども食堂を始めたのですか。

近藤 地元の小中学校のPTA会長を務めたことがあったが、困難を抱えている子どもに対してPTAという立場ではできることが限られており、歯がゆい思いを感じていました。そんな時、子ども食堂をしている方々の円卓会議に出席する機会があり、子ども食堂なら自分がしたかったことを実現できると思い、立ち上げを決めました。

周囲に子ども食堂の話をする、「食中毒が発生したらどうするの」、「ケガでもしたら大変だ」等、いろいろと心配する声が挙がりました。「貧困世帯で暮らす子どもなんてこの地域にはいないよ」とも言われました。いろいろな子ども

食堂に見学に行ってノウハウを学び、共感してくれる人を少しずつ巻き込んでいき、1年半ほどの準備期間を経て、2017年9月に立ち上げました。

行政も様々な支援をおこなっていますが、行政ではできないけれど、子ども食堂だからできることは確実にあります。それは、一律な支援ではなく、「お節介の心や立場での柔軟な支援」ができるということです。本当に相手に寄り添った支援は日々のつながりや信頼関係があつてこそじゃないとできません。

### 子ども食堂という活動が 必要なくなるのがゴール

吉田 子ども食堂の活動を通して、今の子どもたちをどう思いますか。

近藤 「今の子どもたちには頼れる大人がいないのでは」と感じています。子どもたちを温かく接していく地域の中の包容力が減ってきているのではないのでしょうか。私は、子ども食堂という活動が世の中から必要なくなるのが最終的な



代表  
**近藤 慎太郎**  
さん

はらやまひかり食堂(堺市南区)

ゴールだと思っています。今は地域の中でのつながりが希薄になってしまっていますが、地域の中に包容力があり、みんなで支えられる関係が世の中に再び構築されたら子ども食堂がなくてもいいですね。

子ども食堂の中には、貧困やDVなどの困難を抱える家庭の子どもを中心に抽出して運営しているところもあります。しかし、誰でもなんらかの問題を抱えていると思うのです。はらやまひかり食堂は子どもの置かれた状況について決められた価値観でのラインを引かず、どんな子どもでも来てもらえるようにしています。また若い世代の人たちにも参加を呼びかけています。地域の子どもの地域で育てる、それは大人の自身の成長にもつながります。

## 地域の中のお節介さんになる

近藤 今、貧困は広がっているというより複雑化しています。経済的な貧困だけでなく、母子家庭・父子家庭

など家族構成に起因する困難を抱えている場合もあります。学校で「いい子」と思われている子どもが実はしんどい状況にあることもあり、実態をきちんと見て支援していかないといいけません。今は、公式LINEを活用して貧困のもっと深いところ、緊急性の高いところと個別につながることを特にすすめています。密に連絡を取り、「いつも見守っているよ」ということを伝えています。また、自分の周りだけが良ければ良いではなく、区内の子ども食堂のネットワークを作り、情報共有や立ち上げ支援などをすすめています。

吉田 子ども食堂がなくなるまでには、まだしばらく時間がかかりそうです。私たち一人ひとりが目の前の事態にちゃんと向き合い、いろんな形で寄り添っていったらと思います。

参照: はらやまひかり食堂のホームページ

## 活・動・報・告

エッコロ専門委員会

エッコロカフェ

6月17日(金)  
風来里(堺市南区)

エッコロ専門委員  
南荳 美可

## エッコロカフェ、再開しました！



者が少ないと助け合えない」「こんなカフェを数多く開催し、顔見知りを増やす。そのためにもエスコープ大阪の組合員を増やしたい」と、どうしたらもっとこの制度を広げていけるかという話になりました。

エッコロ制度はエスコープ大阪独自の「組合員どうしのたすけあい」のしくみです。加入者をもっと増やすために、2021年にエッコロ専門委員会を設置しました。

泉北ニュータウン地域にあるエスコープ大阪の交流施設「風来里(ふらり)」にて、エッコロ専門委員会が立ち上がって初めての『エッコロカフェ』。参加された方は組合員歴の長いベテラン組合員で、エッコロ制度を利用されたことのあるおふたりでした。

エッコロカフェでは、まだエッコロ制度に加入されていない方にも参加してもらい制度の説明などもするのですが、今回は実際にエッコロ制度を使ってみた感想を伺うと、「こんなにいい制度があるのになぜ関心ある人が少ないのか不思議」と。そこで、「とても良い制度なのに加入

話はドンドン盛り上がり、「数十年前にこんな活動をしていた」など貴重なお話もたくさん聞かせてもらいました。年代の違う方や初対面の方とでも、エスコープ大阪の組合員どうしなのでいろんな話をすることができ、このようにお互いのことを知るにより、助けってもらったり助けたりするのもしやすくなるのではないかと思います。

エッコロカフェはこのように知らない組合員同士をつなぎたすけ合えるしくみを作っていくための場です。今回は飲食はしていませんが、落ち着いたらお茶菓子など食べながら楽しくおしゃべりをしたいと思います。これからたくさんの地域でドンドン開催し、エッコロ制度の輪を広げていきたいと思っています。

紹介します!!  
うちの地域の  
組合員さんです



## 楽しい子育て実践中!

小山田 さつきさん  
〔大阪市南・  
中河内地域準備会〕



生協に加入する前は市販の肉類は臭くて食べられず、肉難民だったとか。そんな時、時々訪れていた八百屋を経営している方がエスコープ大阪組合員で紹介してもらったのがきっかけでした。お肉がおいしく、中でもお気に入りの消費材は、「(株)ウインナークラブ」の『豚ミンチ大400g』。よくハンバーグの作り置きをされているそうです。

お子さんは生まれてからしばらくアトピー性皮膚炎に悩まされていたそうですが、1歳までは離乳食は与えず、洗剤を使わず水だけで洗濯していたら、1歳でアトピーがピタリと止まったそうです。お子さんには

人と人とのつながりを大事に、自分で考えて行動してもらいたいと考え、お母さんたちの手作り幼稚園へ元気に通っています。共同自主保育をしている幼稚園で、先生はおらず、母親たちが遊びを作り出して子どもたちを見守っていく保育をしているところだそうです。

「地域委員会で生産現場に行く企画があったら、親子で参加して『いのち』をいただいていることをお子さんに実感してもらいたい」と話されていました。

聞き手:大阪市南・中河内地域準備会  
地域委員 杉之原 かおり



豚ミンチ大400g  
(株)ウインナークラブ

私たちエスコープ大阪の子会社、ウインナークラブの豚肉。生産者は「(有)石井養豚センター」(徳島県)で効率よりも安心でおいしい豚肉を追求しています。4元交配した品種で、飼料のトウモロコシ・大豆粕は遺伝子組み換え対策済み。一度も冷凍していないジューシーなフレッシュ肉です。

職員さんが  
自己紹介!!

みな  
木村 聖奈(29歳)  
エスコープ大阪在籍年数  
1年4ヵ月  
〔経営管理フロア・泉北本部〕



## 『旬菜セット』、本当におすすめです!

エスコープ大阪で経理を担当している木村です。生まれと育ちは関東で、関西には大学生の頃から住んでいます。食べることと、ピアノを弾くことが大好きです。

以前働いていた大学生協でも経理の仕事をしていました。エスコープ大阪には昨年4月に入協し、2ヵ月ほど研修で共同購入の配達に同行しました。組合員の皆さんと直接関わることがとても新鮮で、毎日楽しく配達していました。

主な業務は、仕訳の入力や経費の支払い、組合員の利用代金の管理などです。電話対応もしており、まだまだ勉強不足でうまく答えられないこともあります。日々邁進していきたいと思えます。

5歳の息子のお気に入り消費材は、『パスタライズド

牛乳』と『旬菜セット』です。配達の日になると、「今日は牛乳が届く日だ!」と朝から大はしゃぎし、『旬菜セット』の袋を見つけると、「今日の野菜は何かな?」と興味津々です。私自身も、『旬菜セット』で届いた野菜を見て、何を作ろうか考えるのを楽しんでいます。実は、6月に皆さんにお配りした旬菜のチラシは私が作りました!『旬菜セット』の魅力が多くの方に伝われば幸いです。



旬菜セット・ミニ  
(3~6品目程度)

菜食ファーム



旬菜セット・ファミリー  
(6~9品目程度)

菜食ファーム

エスコープ大阪エリアの旬の新鮮な地場野菜のおまかせセット。栽培期間中、農薬は「大阪府エコ農産物」基準の1/2以下。化学肥料不使用で、有機肥料を使って栽培しています。

予約は随時受け付けています。配達職員もしくは直接電話で申し込んでください。



# 「おおぜいの私」がつくるエスコープ大阪

## vol.5 共同購入運動①

これまでお伝えしてきた通り、協同組合は共通の目的を持った人同士が自発的に集まって作る組織で、出資して組合員となって事業を利用し、運営に関わります。エスコープ大阪が主軸としておこなっている事業は「共同購入事業」です。単に「共同して」「購入する」というだけでなく、それには目的があり組合員の思いや考えがあります。

### 社会問題への代案

「共同購入」とは、組合員一人ひとりの注文をまとめて、生産者から購入するしくみのことです。この時に重要なのが「予約」共同購入であることです。数を束ね、先の購入の約束をすること（計画購入）で、生産者は計画的に効率良く生産・出荷、組合員が求める中身（原材料）で適正な価格でつくることが可能となり、生産者は安心して生産することができます。

私たちがすすめる「共同購入」は、「オルタナティブな（もうひとつの・代案の）マーケット」という側面があります。消費と生産の分断、生産・流通の不透明、食品問題などがあり、組合員として問題視していることについて自分たちとしての解決に向かう行動を反映させて事業化しています。組合員は、市場

だけの問題ではなく、消費者側の問題点も課題として活動し、運動を事業化してきました。

### 「消費材」を「購入する」ことへの思い

私たちの生協でも設立当初は、「より良いものをより安く」の考えの共同購入でしかありませんでした。しかし、エスコープ大阪（当時の泉北生協）の組合員は、その考えだけではできないことを知り、生産者との提携の在り方や考え方を早い段階で変えました。生産・流通が明確（＝生産者が情報を開示する）で、生産原価を積み上げた適正価格でということに大事にしてきました。こうして利用を結集してきた消費者行動は、大きな社会的な影響力も持ちます。これは「購入する」かたちである一面、「他を買わない」意思表示（＝非買運動）でもあります。

エスコープ大阪では、取り扱う食品や生活用品を利潤追求が目的の「商品」（売るためのもの）ではなく、実際に使う人の立場にたった材であるという思いを込めて「消費材」と呼んでいます。消費材を通じて、生活の中にある課題の解決をめざしています。



## 第1回 理事会報告 <7月8日>

### 【5月度決算報告】

- 供給高 2億1,717万円（前年同月比92.7%）
- 組合員数 18,903名（前月比+67名）
- 一人当たりの出資金 88,576円

### 【6月の放射能検査結果】

6月は連合消費材712検体、関西消費材6検体の放射能検査を実施しました。生活クラブ自主基準を超えた検体はなく、すべての消費材を供給しました。

### 【決議事項】

- ①2022年度役員報酬額の決定

### 【協議事項】

- ①第56回エスコープ大阪通常総代会開催報告と運営について
- ②2022年度監事監査計画
- ③まつりに代わる企画案
- ④10月理事研修について
- ⑤各地域の担い手づくりの進捗状況の確認と意見交換
- ⑥旬菜セット品目「紅芯大根」について

## おたよりネット



「rippur」の感想やご意見、その他投稿は下の「おたよりネット」欄で。配達時に提出、あるいは店舗の専用BOXまで。

234号3面「(株)坂利製麺所」坂口 利勝さんを読んで

染谷 さと子さん

「坂利製麺所」代表が息子さんになったんですね。おめでとうございます。良子さん（お母さん）の印象が強いので、これからもおいしい素麺を作ってください。

233号1・2面「千円で夢を買っちゃおう！」で始まったせっけん運動を読んで

紙面モニター Kさん

私も40年以上前から（合成）洗剤をやめてせっけんを使っています。川崎で長年せっけん普及に携わってこられた薄木さんのお話は地道な努力が報われた素敵な体験談でした。

キトリ

## Ripple おたよりネット

（ペンネームOK）

●お名前

●地域名

●班・コース名

●組合員コード

理事会事務局行き

235号(2022.8.29)

編集後記

はらやまひかり食堂に取材に行った日は、地元の高校生たちと先生が体験に来ていました。食堂終了後に近藤さんから子ども食堂の役割などを伝え、どうしたらもっと多くの人に子ども食堂を知ってもらえるかを考える時間がありました。高校生からは大人では思いつかないような意見も出て、頼もしく思いました。（Y）

キトリ

発行:生活協同組合エスコープ大阪 制作:W.Co バックプランニング

生活協同組合エスコープ大阪

〒590-0151 堺市南区小代727

TEL.072-293-4660 FAX.072-341-0022

<https://s-osaka.seikatsuclub.coop/>